



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)防除剤

スクミンベイト[®]3

磷酸第二鉄粒剤

有機JAS対応

WCS用稲使用可



ここがおすすめ!!

- 有効成分は自然界に存在するから環境負荷が低い
- 収穫前日数の心配なし
- 使用成分数にカウントされない
- 食害防止効果と殺害効果を併せ持つ



OAT アグリオ株式会社

<https://www.oat-agrio.co.jp/>
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター

☎ 0120-210-928

(9:00~12:00・13:00~17:00 土・日・祝日を除く)



スクミンベイト[®]3 環境負荷の少ないスクミリンゴガイ防除剤

■有効成分： 燐酸第二鉄水和物 3.0% (鉄として 0.87%) ■性状： 淡緑色粒状 ■規格： 2kgx8袋

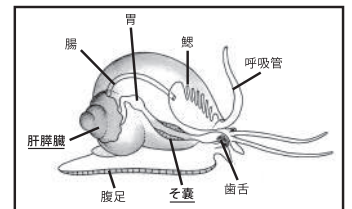
上手な使い方と留意点

- スクミリンゴガイの活動が活発(水温15℃以上が目安)になってきたら処理適期です。
- スクミンベイト3はスクミリンゴガイへの高い誘引性がありますが、水田全体に均一に散布するとより効果が発揮されます。
- 手撒き、粒剤散布機、無人ヘリコプター、ドローンなど散布方法を選びません。
- 水口・深水等の発生が多い場所では、登録範囲内で多めの薬量を処理することをお勧めします。
- 表層剥離の発生しやすい水田では、本剤の効果が十分に発揮できない場合があります。
- 発生前の処理あるいは低水温により、本剤を摂食する機会や量が減った場合に効果が低下する場合があります。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深3~5cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

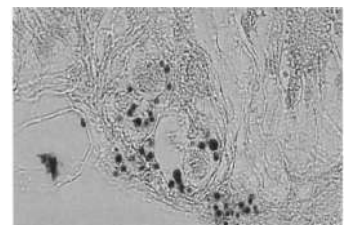
効果のしくみ

スクミンベイト3の有効成分「燐酸第二鉄」は、スクミリンゴガイの摂食により消化器官の細胞内に遊離鉄として取り込まれ、消化器官に病理的变化を引き起こします。スクミリンゴガイの食欲が低下し、稲への食害ができなくなります。

消化器官内に取り込まれた遊離鉄は、活性酸素を発生し内臓機能を破壊し、スクミリンゴガイは栄養を摂取できずに4、5日後に死亡します。



スクミリンゴガイの構造



細胞内に取りこまれた遊離鉄

適用病害虫と使用方法

2017年8月30日付登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	燐酸第二鉄を含む農薬の総使用回数
稲	スクミリンゴガイ	2~4kg/10a	発生時	—	散布	—
れんこん		4kg/10a			無人ヘリコプターによる散布	

使用上の注意事項

- 本剤は湛水状態で均一に散布してください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布をする場合は、次のことに注意してください。
 - 1) 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 2) 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - 3) 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整し、飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。
 - 4) できるだけ風の弱い時間に散布してください。
 - 5) 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 6) 薬剤が水源池、飲料用水、養殖池、養魚田などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 7) 使用後の機体散布装置は十分洗浄し、タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所にはおかないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2021年3月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例にあてはまるものではありません。